

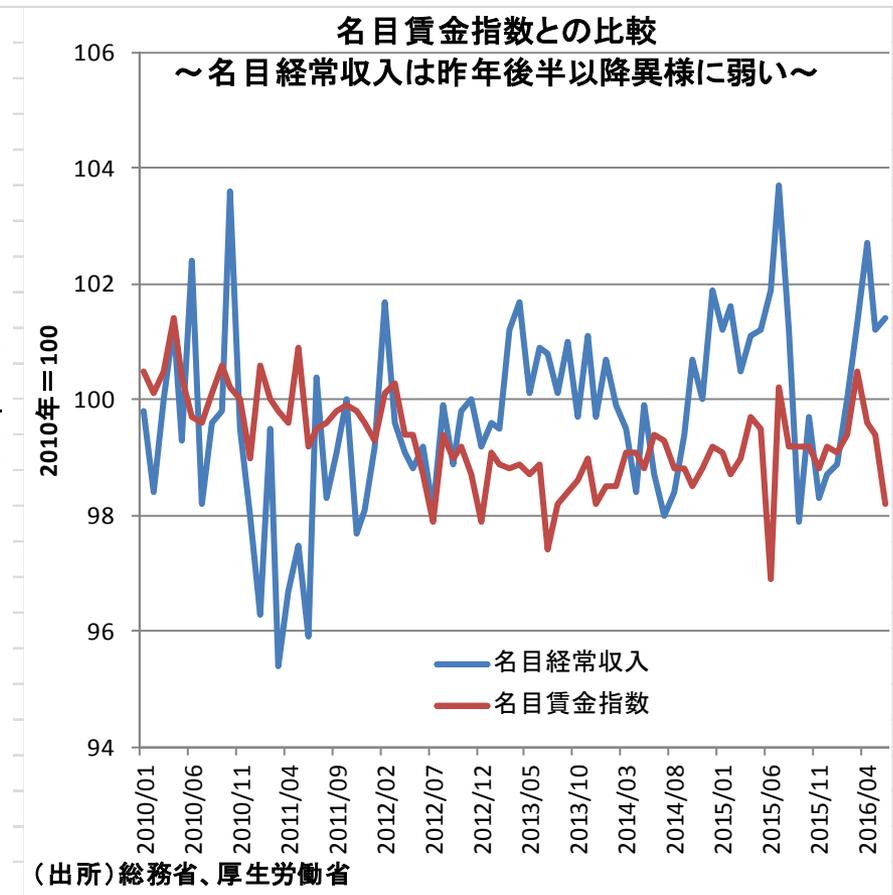
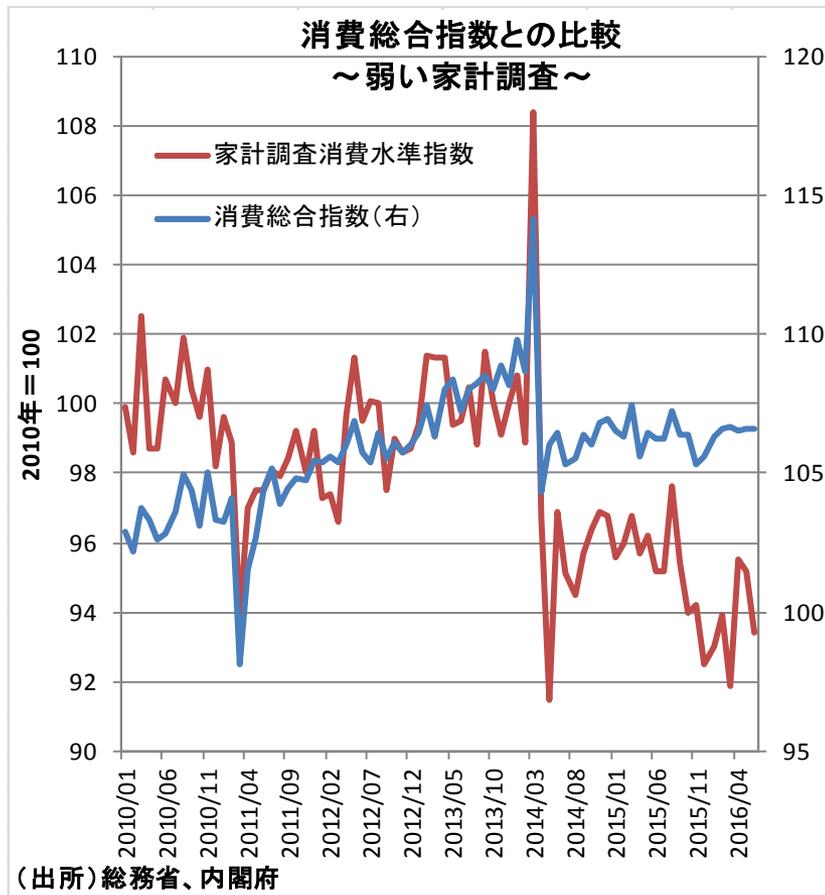


**経済統計の理想と現実  
どうあるべきか、どう読み解くか**

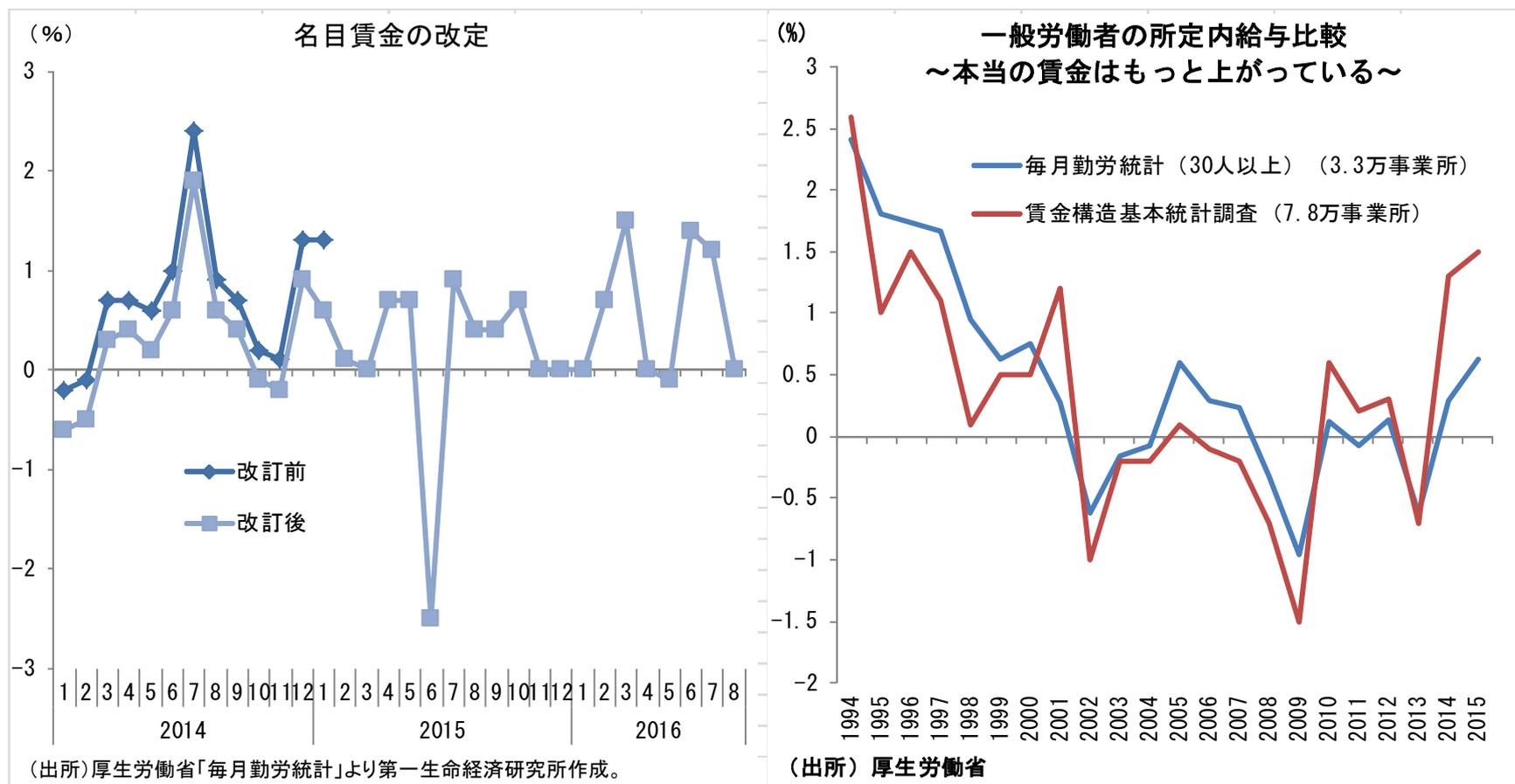
(株)第一生命経済研究所  
経済調査部 首席エコノミスト  
永濱利廣

# 1. 現在の経済統計の何が問題なのか

## (1) 家計調査の問題点



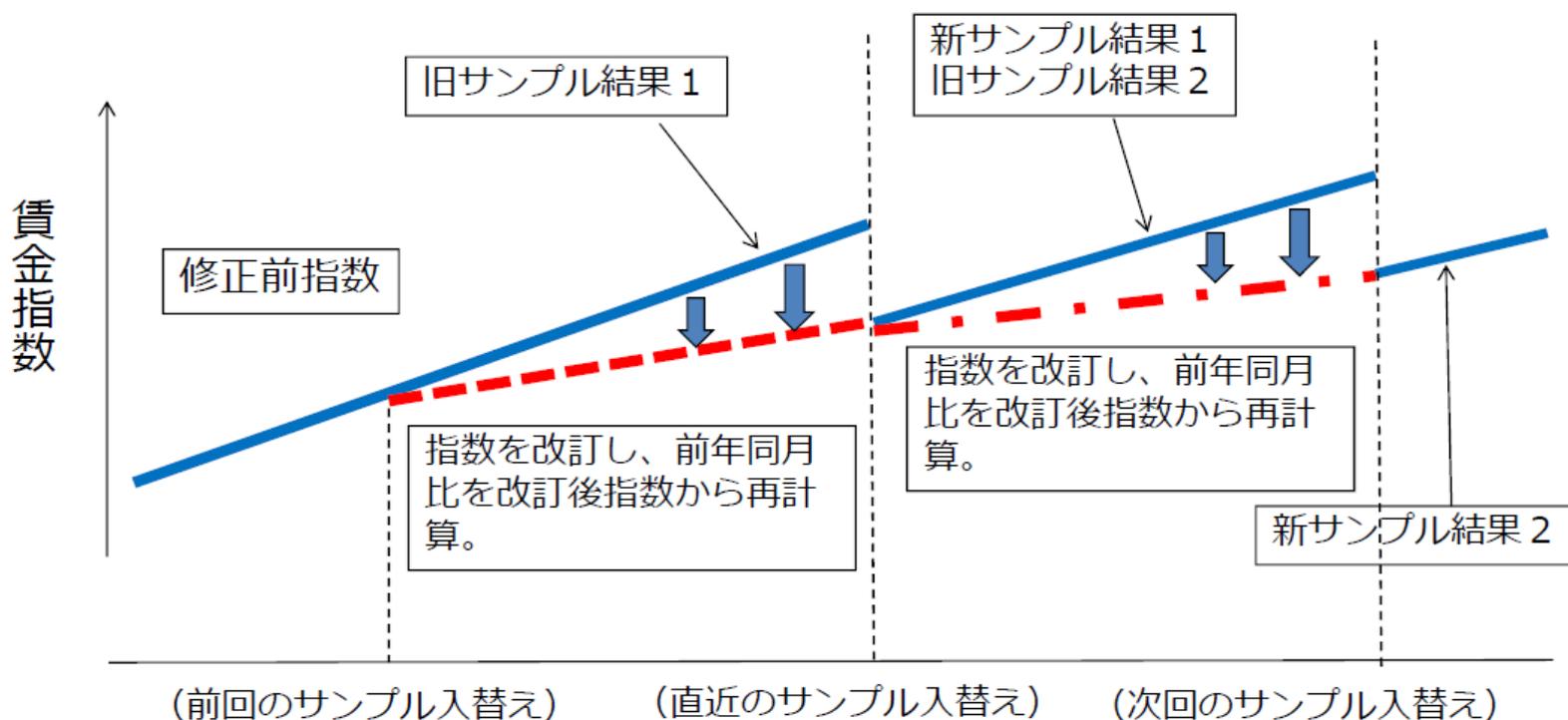
## (2) 毎月勤労統計の問題点①



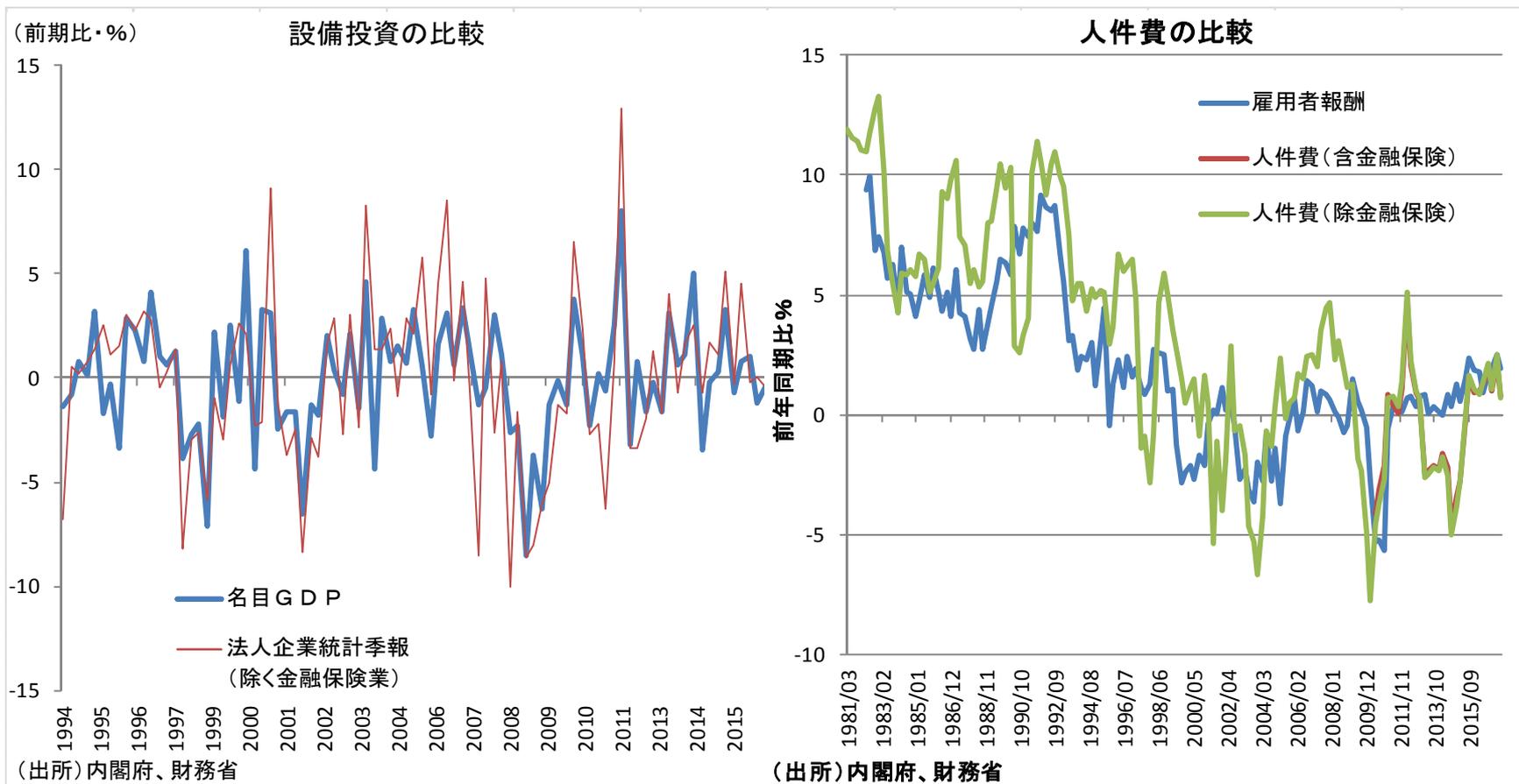
### (3) 毎月勤労統計の問題点②

#### 【修正方法】

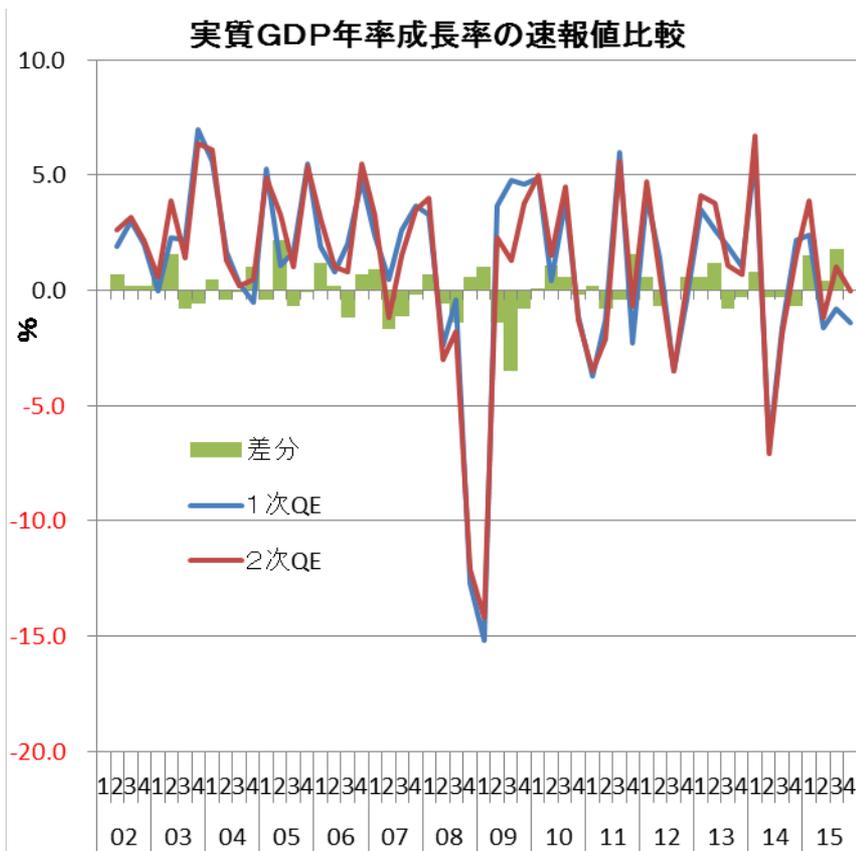
従来の三角修正方式（ギャップ修正）の概念図  
（指数改訂、前年同月比改訂方式）



## (4) 法人企業統計の問題点



## (5) GDP統計の問題点①



(出所) 内閣府

- 2次速報で設備投資や在庫が大幅修正される。
- 確報で公的固定資本形成が大幅修正される。
- 可能な限り家計消費状況調査の結果を活用する。
- 需要側統計の採用を取りやめ、供給側統計を中心とした推計に切り替える。
- 需要側推計値と供給側推計値の公表。

## (6) GDP統計の問題点②

### 各需要項目名目値推計方法の概要

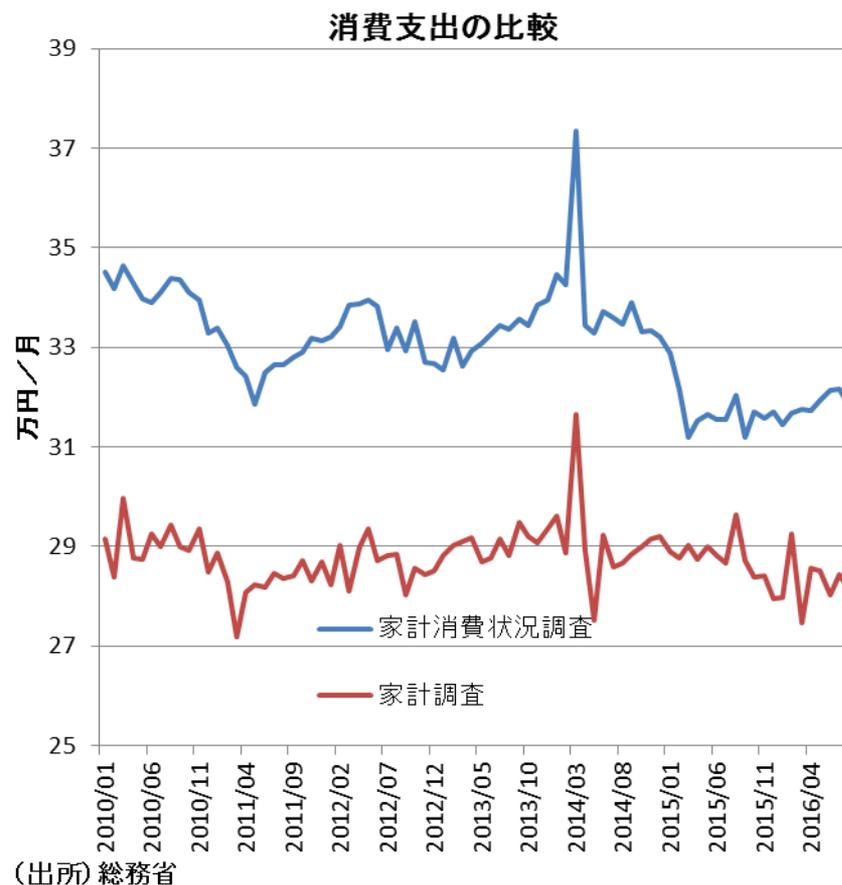
家計最終消費支出	供給側推計値と「家計調査」等から推計した需要側推計値を統合
民間住宅	「建築物着工統計」の工事費予定額を平均工期で進捗ベースに転換して推計
民間企業設備	1次QEでは「供給側推計の総固定資本形成－公的固定資本形成」で求める 2次QEで供給側推計値と「法人企業統計季報」等から推計した需要側推計値を統合
民間在庫品増加	1次QEでは製品在庫を「鉱工業生産指数」の製品在庫指数等から推計し、 流通在庫を「商業販売統計」の商品手持額等から推計 2次QEで仕掛品在庫と原材料在庫を「法人企業統計季報」から推計
政府最終消費支出	構成項目ごとに予算書や基礎統計の四半期値情報等から推計
公的固定資本形成	「建設総合統計」の「公共」の前年比で推計
公的在庫品増加	ヒアリング情報等を基に推計
輸出入	1次QEでは貿易統計等により推計し、 2次QEで「国際収支統計」の貿易・サービス収支の計数を組替えて推計

(出所)内閣府

## 2. 経済統計はどうあるべきか

### (1) 短期的にはどのような改革をすべきか

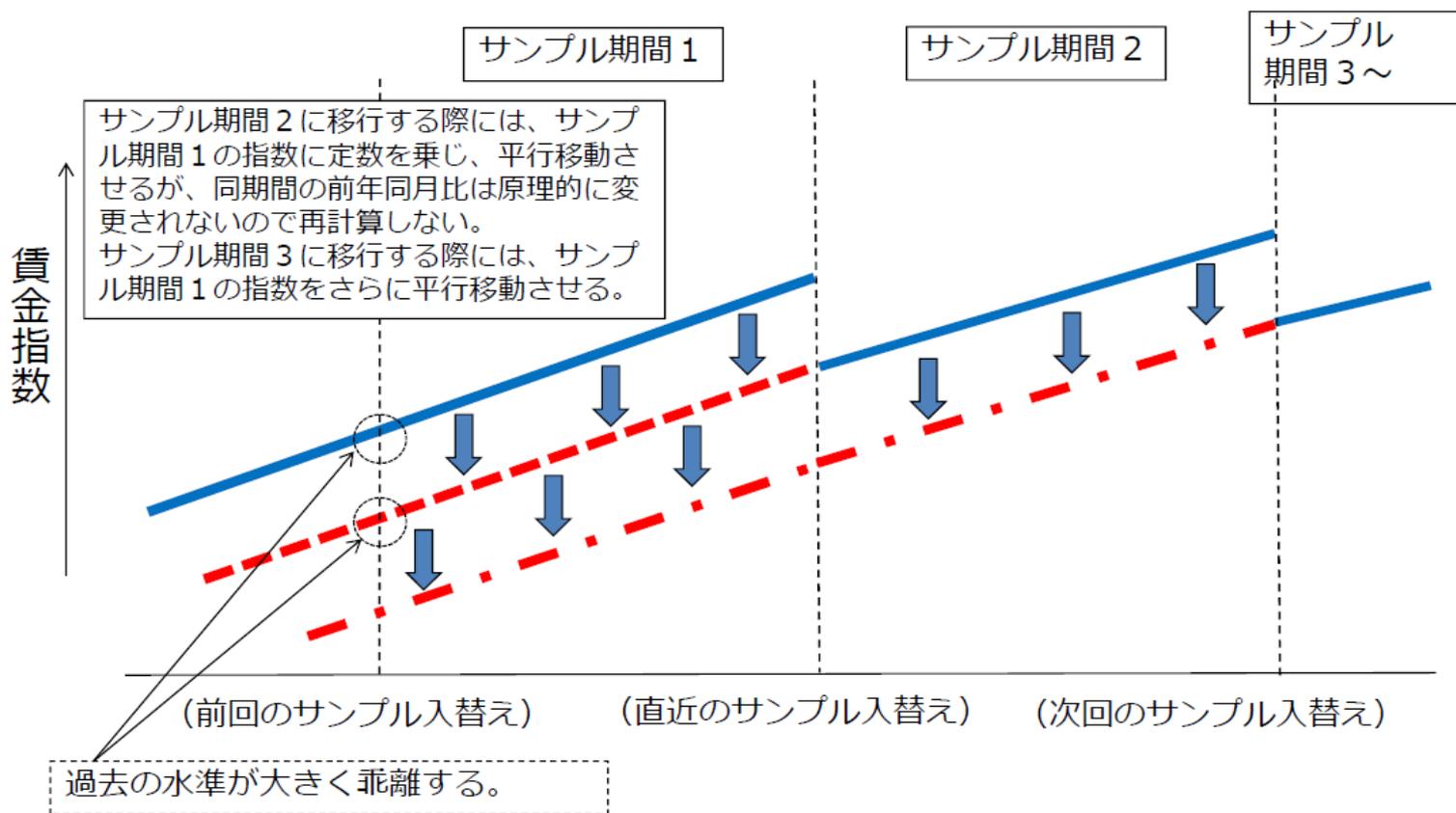
- 調査項目を限定してサンプルを拡大した家計消費状況調査をメイン指標とし、家計調査をサブ指標として取り扱う。
- 法人企業統計はサンプル替えの影響を調整した数値の公表や、資本金一億円未満企業の抽出率引き上げ。
- 重要項目については早期に別途集計して速報を発表する。
- 連結決算の集計が可能ではないか。
- 毎月勤労統計は、サンプルの拡大や調整の変更による安定性の向上。
- 特、サンプル替えの断層調整を三角修正方式から平行移動方式に変更すべき。



## (2) 毎月勤労統計の修正イメージ

### 【修正方法】

### 平行移動方式（ギャップ修正）の概念図

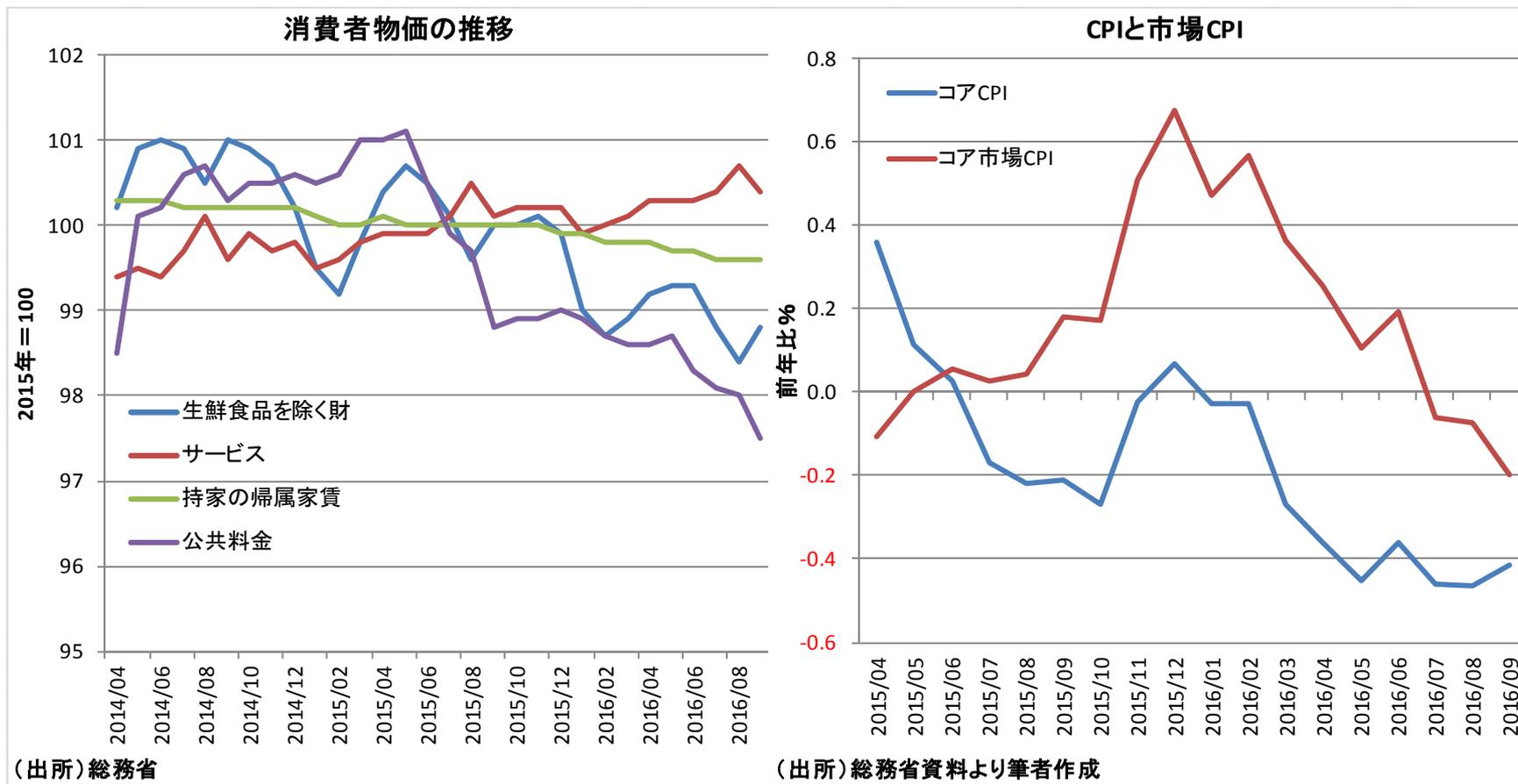


### (3) ほかにどのような改革案が考えられるか

- 興味深い日銀の税務統計からのGDP推計。米国では支出と所得の平均値公表。欧州では支出生産所得の平均値を用いるケースもある。
- GDPに反映されるR&Dの四半期統計がない。法季の販管費は基礎統計の研究開発費とかい離が目立つ。→改定が更に大きくなる恐れ。
- 米国並みの速報性の向上(週次統計の充実)。
- 厳しい財政事情の下でも統計予算全体の拡充も検討されるべき。

# 3. データ公表の工夫

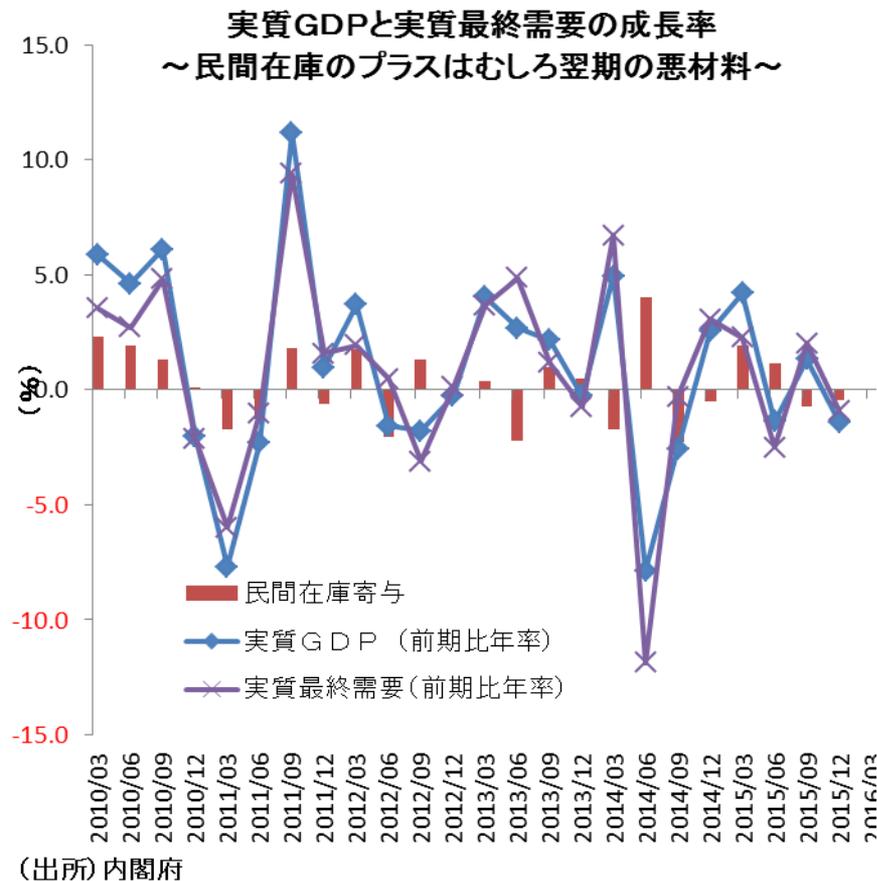
## (1) 一次統計：市場取引と非市場取引の区別



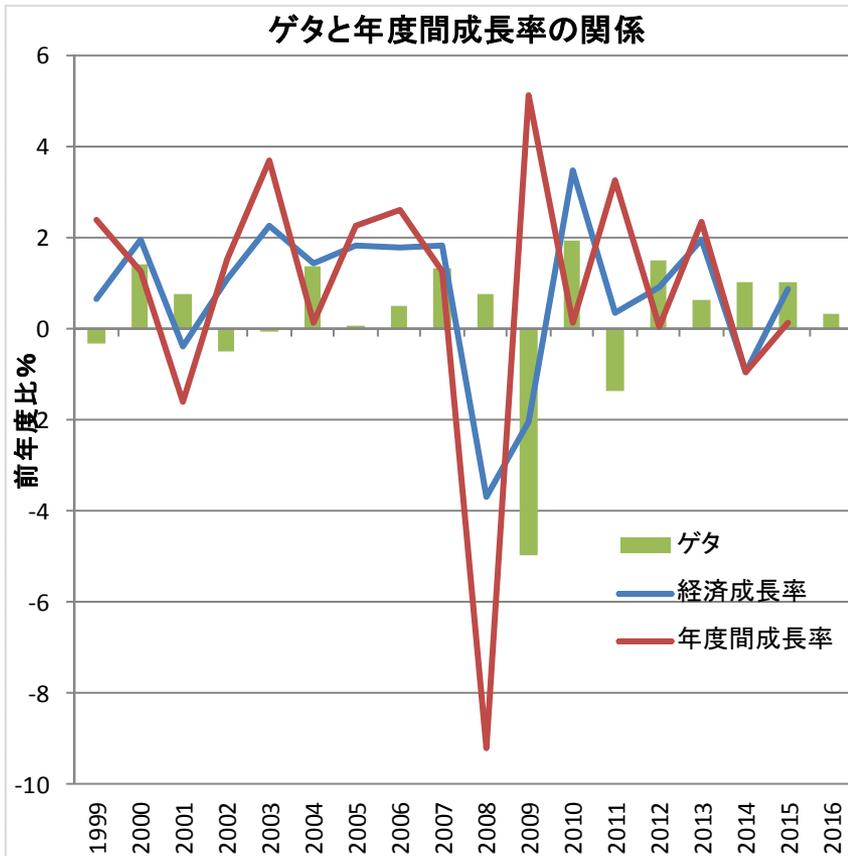
## (2)加工統計①:成長率の多角的視点

- 民間在庫を除く最終需要で判断
- 年度間成長率の有効活用
- 需要側と供給側の統計の乖離から事前に予測
- 市場GDIの活用
- GNIではなくてGDIの有効活用

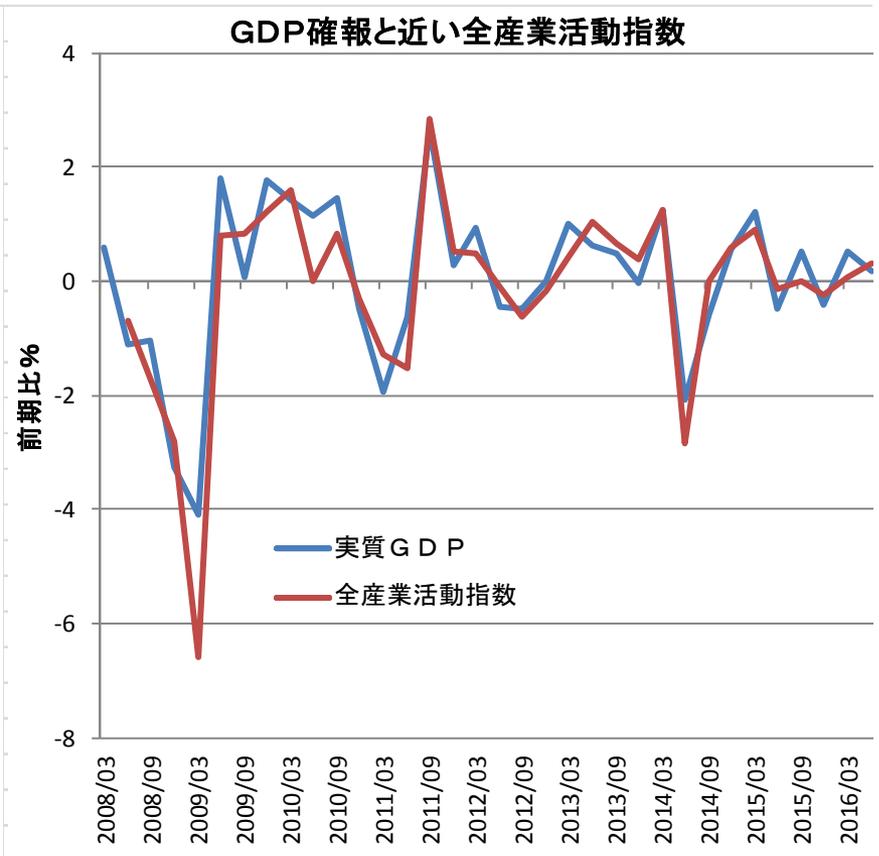
等



### (3)加工統計②: 年度間成長率と供給側統計

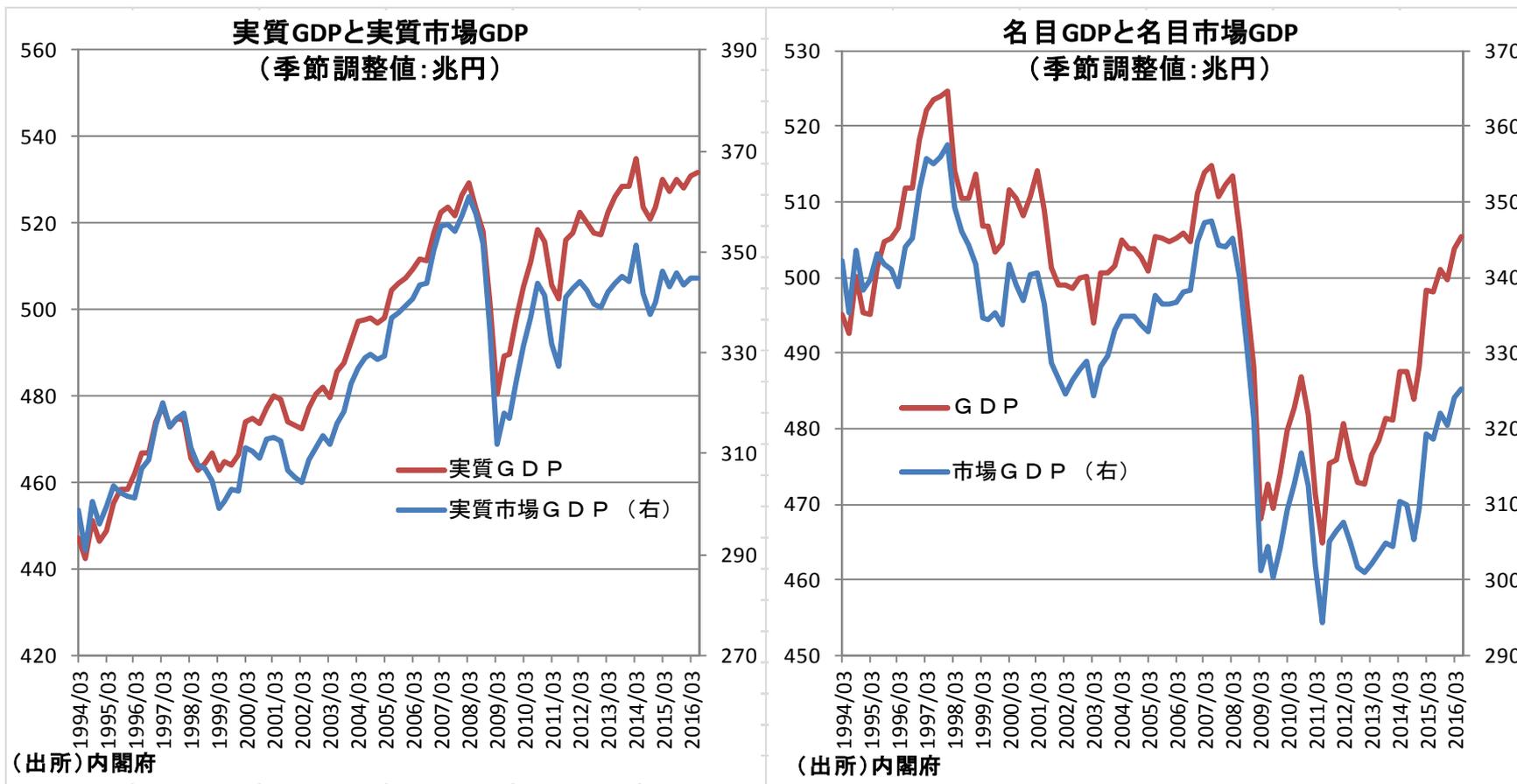


(出所)内閣府資料を基に作成



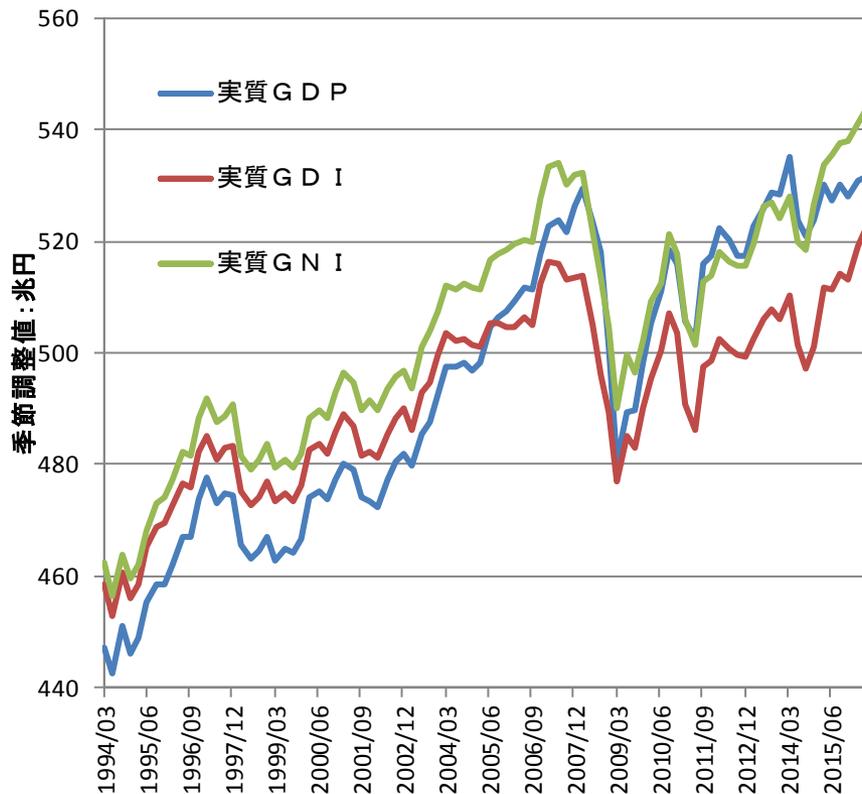
(出所)内閣府、経済産業省

## (4) 加工統計③：市場取引と非市場取引



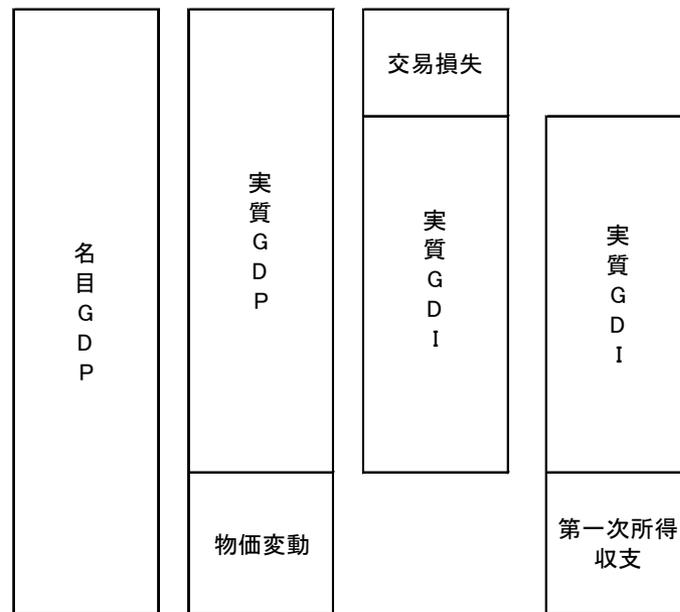
# (5)加工統計④: GNIではなくてGDI

実質GDP、GDI、GNIの推移



(出所)内閣府

GDPとGDI、GNIとの関係



(出所)内閣府資料を基に作成

## (6)加工統計⑤: 交易利得(損失)の重要性



(出所)内閣府

### 交易利得(損失)の計算式

交易利得(損失)

$$= (X - M) / P - (X / P_x - M / P_m)$$

実際の所得    GDP会計上の実質所得  
(実質貿易収支) (輸出入の数量差)

X: 名目輸出、

M: 名目輸入、

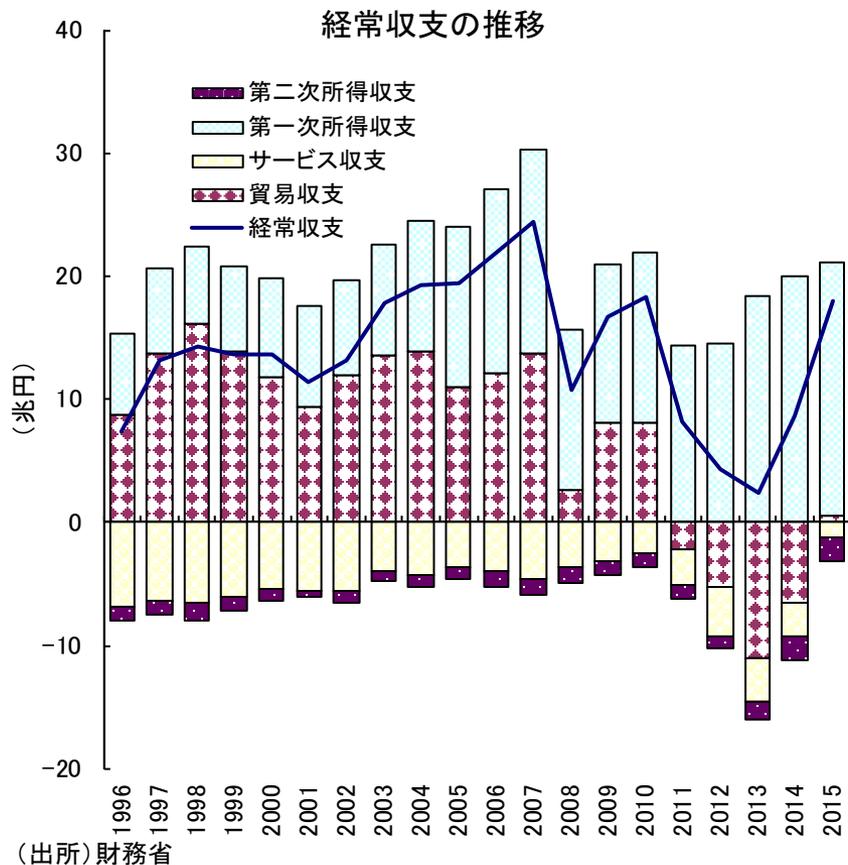
P<sub>x</sub>: 輸出デフレーター(輸出物価)、

P<sub>m</sub>: 輸入デフレーター(輸入物価)、

P(輸出入物価) =  $(X + M) \div (X / P_x + M / P_m)$

(出所)内閣府

# (7)加工統計⑥:国内還流しなくても増えるGNI



経常収支におけるGDIとGNIに含まれる領域

貿易収支	サービス収支	第1次所得収支	第2次所得収支
※貿易収支とは、輸血量と輸入量の差額を指す。	※輸送、旅行、その他のサービスの取引による収支を指す。	※海外への投資で得た配当や、海外からの投資による国内からの支出などを指す。	※食料や医薬品などの海外援助を指す。
GDI(国内総所得)			
GNI(国民総所得)			

(出所)財務省